

2014 in 京都

愛される学校づくりフォーラム

- 1 劇で語る！校務の情報化 パート2
- 2 楽しく授業研究をしよう

日時

平成26年 2月 9日(日)
10:00~16:30 (受付開始 9:30)

会場

ホテルグランヴィア京都 (5F「古今の間」)
※JR京都駅 中央口

定員

250名 ※定員になり次第締め切らせていただきます

対象

幼小中等高等学校の教職員／大学等の教育関連の研究者／
教員を目指す大学(院)生／教育委員会等の教育行政担当者／
愛される学校づくり研究会会員および会員の紹介者

参加費

3,000円 (資料代含む)

主催

愛される学校づくり研究会

申込み

ホームページから、または中面の参加申込書にご記入の上、
FAXにてお申込みください。(1月28日締切)

※詳細は、中面をご覧ください

【午前の部】

劇で語る！校務の情報化 パート2

◆5人の座長：



堤 泰喜 山田貞二 鈴木正則 山田純一郎 水谷年孝

◆座員：愛される学校づくり研究会会員

◆司会進行役：玉置 崇

主
な
登
壇
者

【午後の部】

楽しく授業研究をしよう

◆授業者：

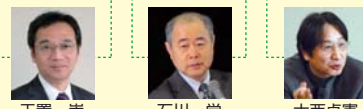


伊藤彰敏

佐藤正寿

野木森広

◆コーディネーター：



玉置 崇

石川 学

大西貞恵

愛される学校づくり研究会は、関わってくださるすべての皆さんから
愛される学校となるための様々な研究を行うとともに、
会員の力量向上を図るための研修、情報交換、発表をすることを目的としています。

<http://www.ai-school.jp/>

ごあいさつ

今年も、多くのみなさんと“愛される学校づくり”を共に学び楽しく考えるフォーラム2014を開催いたします。

「愛される学校づくり研究会」は、学校教育にかかわってくださるすべてのみなさんから、愛される学校となるためのさまざまな研究、開発、実践等を行い、会員の力量向上をはかるための研修、情報交換、発表することを目的として活動しています。

第1回のフォーラムを平成23年2月に名古屋で開催し、第2回、第3回と東京で開催しました。4回目は、初めて関西地区で開催いたします。

午前中は、前回の「劇で語る！校務の情報化」をリニューアルしました。研究会会員が演じる5つの劇を通して「校務の情

報化って何？」と一緒に考えましょう。

午後は、「授業研究の成果があがっていない」「いつも同じ話になって形式化している」「若手教員が困っている」など、授業研究の検討法を提案します。

授業研究のための模擬授業は、昨年度、社会授業名人の有田和正先生に挑戦した佐藤正寿をはじめ、国語、社会、理科の授業名人が行います。模擬授業の児童・生徒役には、当日の参加者からも抽選で参加いただけます。

会員一同、皆様のお越しをお待ちしています。



会長 小西祥二



司会進行役：玉置 崇

1 劇で語る！校務の情報化 パート2

10:00～12:00

常に挑戦し続けている愛される学校づくり研究会。座長の入れ替えもしながら、前回同様に、再びオリジナル寸劇を通して、「校務の情報化」の本質を伝えます。今回は、笑いには格別厳しい関西地区での初フォーラム。座長、劇団員も笑いをかなり意識して、台本や演技の検討を重ねています。今回も、「校務の情報化」がこんなに面白くて分かりやすいのは初めて！と言っただけよう頑張ります。

校務の情報化

この劇団では、校務支援システムの中から、主に「書庫」「会議室」「成績一覧」「いいとこみつけ」「通知表のデータの指導要録への移行」などの活用を通して、いかに時間の無駄を省き、「子どものための時間を生み出すか」をテーマに劇を行います。

座長



中川行弘



川本篤史



瀬上圭太



堀 泰喜



柳瀬貴夫



伊藤治紀



日比野智彦

学校HP・ネットで学校比べ



山田真二

座長

ともすれば学校のお荷物となりがねない「学校ホームページ」。しかし、今や毎日更新は当たり前。保護者や地域との連携強化や学校活性化のための重要なツールとなっています。「学校ホームページ」の広がる可能性を劇化します。



平林哲也



鷺尾健仁



岡山雅仁



大谷由紀



下村聡



丹羽啓輔

座長



山田純一郎



中林則孝

グループウェア・業務時間の短縮

朝の打ち合わせはすっきりと行いたいもの。しかし、情報が錯綜し、混乱の場になっていませんか。校務システムの導入で、「ホウレンソウ」がスムーズになり、さわやかな気持ちで一日が始まります。

座長



小竹紀代子



近藤肖匡



鈴木正則



塚田直樹



長谷川濃里

緊急メール・安心と安全

「緊急メール」は大変便利です。けれどもチェックしておかないと大変なことに。また、ホームページで情報をタイムリーに公開することは、家庭での会話を増やすことに。そんな様子を劇でお伝えします。



真山 恵



永井直美

座長



水谷年孝



田中雅也



水野京子



曾田修弘



小川康夫



服部 亮



松本賢治



新美秀雄



堀田敦士



杉浦充典



小森弘毅

13:00
┆
13:10
趣旨説明

「授業研究ってちっとも面白くない」、「授業の提案がシャープじゃない」、「司会の取り回しが悪い」、「経験の少ない私が意見を言ってもいいの？」

授業研究と検討会についていろいろな不満を耳にします。私たち愛される学校づくり研究会では、どんな授業でも、どんな司会でも「勉強になった」「参加してよかった」と参加者全員が思える授業検討法を研究してきました。会員代表3名のミニ提案模擬授業を3つの授業検討法で味わってください。楽しく授業研究をするためのヒントがきっと見つかると思います。

※愛される学校づくり研究会ホームページ (<http://www.ai-school.jp/>) の教育コラム「楽しく授業研究をしよう」も参考にしてください。

13:20
┆
14:05

模擬授業① 3シーンの活用

※それぞれの模擬授業の児童・生徒役を、当日ご来場の方から抽選により選出させていただきます。



◆ 授業者 ◆
伊藤彰敏

国語



◆ コーディネーター ◆
玉置 崇

<3シーン授業検討法のポイント>

3シーン授業検討法は、参観者が授業において心が動いたときの時刻を記録しておく必要があります。

その時刻を集約し、多くの参観者が心が動いた3つの時刻(シーン)をビデオ再生しながら、それをもとに授業について協議をします。

14:15
┆
15:00

模擬授業② 3+1(スリープラスワン)の活用



◆ 授業者 ◆
佐藤正寿

社会



◆ コーディネーター ◆
石川 学

<3+1授業検討法のポイント>

授業検討会で発言がつかなくなると困ったことはありませんか。その解決法として、授業の「よかったこと」を3つ、「改善点」を1つ見つける「3+1授業検討法」という、新たな検討会の方法を提案します。

15:10
┆
15:55

模擬授業③ ICTの活用



◆ 授業者 ◆
野木森広

理科



◆ コーディネーター ◆
大西貞憲

<ICT活用授業検討法のポイント>

ICTの活用で授業検討会を活性化できるでしょうか。当日は、私たちが考えたツールを使って授業検討会を行います。みなさんの目で確かめてみてください。きっと新しい授業検討のあり方が見えてくると思います。

16:00
┆
16:30

まとめ — 3つの授業検討法を活かすポイント —



◆ 司会 ◆
小西祥二

私たちが提案する3つの授業検討法をみなさんの学校で活かすためのポイントを、それぞれのコーディネーターと一緒に考えてみたいと思います。授業研究の質を高めることで、どのように学校を変えていくことができるのか。授業研究を通じて、愛される学校をどのようにつくっていくのかをまとめたいと思います。

◆ コメンテーター ◆ 玉置 崇 ・ 石川 学 ・ 大西貞憲

◆参加お申込みの流れ◆

1) ホームページから、または下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。(1月28日締切)

●お申込みURL
http://planexus.co.jp

2) 申込受付後、ヤマト運輸のメール便にて「①入場券」「②払込票」「③EDUCOM教育フェア招待券」(希望された方のみ)をお送りします。お申込から1週間過ぎてもお手元に届かない場合は、事務局までご連絡ください。

3) 入場券到着後、同封の払込票にて代金をお支払いください(8日以内のお支払いをお願いしております)。払込票はコンビニエンスストア、郵便局、銀行等のPay-easy対応の金融機関でお支払いいただけます。
※代金お支払い後のキャンセルは承っておりません。日程等十分ご確認の上お申し込みください。

4) 払込票の受領証をもって、領収書に替えさせていただきます。別途領収書が必要な方は、当日受領証を受付にお持ちください。

愛される学校づくりフォーラム2014 in 京都 参加申込書

送付先・ご請求先	住所	〒		(自宅・勤務先) ※○をお付けください
		都道 府県		
	勤務先	※勤務先を送付先にされる方はご記入ください		
	ふりがな		TEL.	
	氏名		FAX.	
メールアドレス	@			

※払込票(兼受領証)は上記送付先のお名前でお送りします

■入場券 3,000円 × 枚 合計 _____ 円

	参加される方のお名前	ご所属 (学校・教育委員会等)	職名	参加区分 ^{※1}	EDUCOM教育 フェア招待券 (昼食券)の希望 ^{※2}
1				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
2				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
3				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
4				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
5				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要

※「愛される学校づくり研究会」会員の紹介の場合は、会員の名前をご記入ください ()

※1 下記より該当する記号の□にチェックをお付けください。
A: 幼小中等学校の教職員 / B: 大学等の教育関連の研究者
C: 教員を目指す大学(院)生 / D: 教育委員会等の教育行政担当者
E: 愛される学校づくり研究会会員および会員の紹介者

※2 入場券を事前にお申し込みの方には、「EDUCOM教育フェア2014」の招待券(当日、昼食券とお引換できます)をお送りします。お時間等の関係で昼食がご不要の方は「□不要」にチェックをお付けください。

FAX.03-6457-6755

ホームページからもお申込みいただけます
http://planexus.co.jp/

会場へのアクセス

ホテルグランヴィア京都 5F「古今の間」

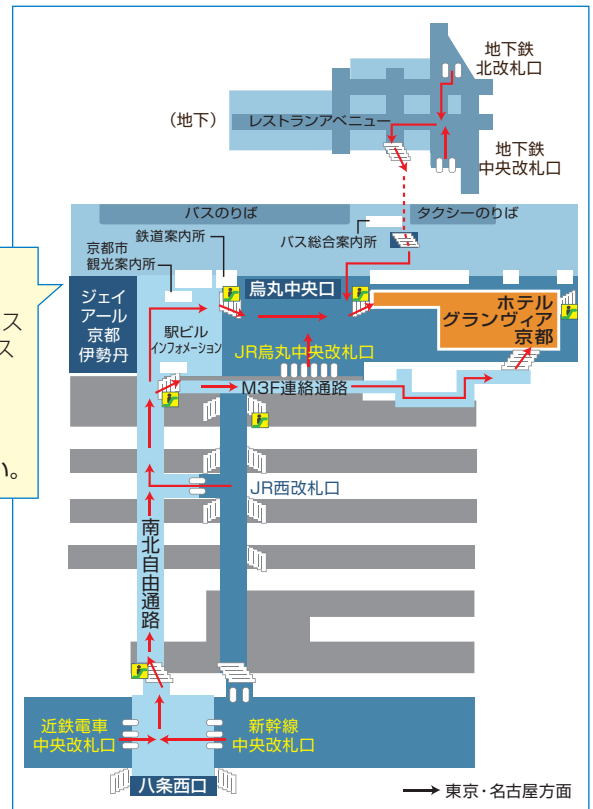
〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下る JR京都駅中央口
TEL : 075-344-8888

京都駅からすぐ

- JR 京都駅 烏丸中央改札口 正面右側エスカレーターを上がり、2階ロビーへ。
 - JR 京都駅 西改札口を出て右折
 - 東海道新幹線 京都駅 中央改札口を出て右折
 - 近鉄京都駅 中央改札口を出て左折
- ⇒南北自由通路を直進。右手エスカレーターより、ホテル和食レストラン街を通り2階ロビーへ。
- 地下鉄京都駅 JR 中央口側エスカレーターを上がり、2階ロビーへ。
- ⇒2階ロビーから、エレベーターまたはエスカレーターにて5階へお越しください。

- 京都駅へは…
- JR東海道新幹線にて名古屋駅より約40分、東京駅より約140分。
- 関西国際空港より、JR関空特急「はるか」にて約75分。
空港リムジンバスにて約88分。(京都駅八条口発着)
- 大阪伊丹空港より、空港リムジンバスにて約55分。(京都駅南口発着)

※詳しくは、下記ホームページからご確認ください。
<http://www.granvia-kyoto.co.jp/>



フォーラムに関するお問合せ

株式会社プラネクサス内 愛される学校づくり研究会事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-29-1

TEL : 03-6457-6753

FAX : 03-6457-6755

jimukyoku@ai-school.jp

プラネクサスの教育書籍のご案内

< 広告 >

野口芳宏・有田和正・志水廣

授業名人が語るICT活用 - 愛される学校づくりフォーラムでの記録

《学校力アップシリーズ⑧》



著者：愛される学校づくり研究会
定価：1500円+税
発行：2012年11月15日

※まえがきより

平成24年2月に開催した「愛される学校づくりフォーラム2012 in東京」において、「授業名人が語る！斬る！ICT活用」と題して授業実践発表とパネルディスカッションを行いました。本書は、そこに至る過程と当日の様子をまとめたものです。

「授業名人」「ICT活用」に関心を持って本書を手にとっていただいたみなさんの期待を裏切らない内容になったと思います。(中略)

2012年のフォーラムは、情報教育の第一人者である堀田龍也先生からいただいたアイデアです。だれもがあこがれている授業名人、野口芳宏先生、有田和正先生、志水廣先生の著名な実践をICTを使って追試し、授業でのICT活用について名人とともに語るフォーラムが生まれることになりました。本書にて、フォーラムまでの取り組みと当日、さらにその後の研究会での論議をより多くの方に提供することができることに会員一同感謝しています。

本書を通して、ますます「愛される学校づくり」が広がっていくことを願ってやみません。

●プラネクサスでは、「学校を元気にする」というコンセプトのもと、教育関連の書籍を出版しております。現在までに刊行された「学校力アップシリーズ」のラインナップをご紹介します。



- ① 大西流・授業の見方
- ② 「学び合う学び」と学校づくり
- ③ 玉置流・学校が元気になるICT活用術
- ④ 成功する校務の情報化ガイドブック
- ⑤ 学校がよくわかる本Ⅰ【組織・しくみ編】
- ⑥ 学校がよくわかる本Ⅱ【学習内容編】
- ⑦ 学校がよくわかる本Ⅲ【授業編】



お問合せ
&
ご注文

●「学校力アップシリーズ」は、フォーラム当日、会場にてお求めいただけます。下記プラネクサスのホームページからご注文いただけますので、ご利用ください。

株式会社プラネクサス 〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-29-1 TEL. 03-6457-6753 FAX. 03-6457-6755

<http://planexus.co.jp>

同時
開催

EDUCOM教育フェア 2014

今年もまた、元気な学校づくりを応援する活動の一つとして「EDUCOM 教育フェア」を開催いたします。「愛される学校づくりフォーラム 2014」の入場券を事前にお申込みの方には、「EDUCOM 教育フェア 2014」の招待券をお送りいたします。招待券は、当日昼食券とお引換いたしますので、受付にお持ちください。皆様にとって、ICTを活用した元気な学校づくりについて考える機会となれば幸いです。

株式会社EDUCOM 代表取締役CEO 柳瀬貴夫

つ な が る

ひ ろ が る

EDUCOMは
元気な学校づくり®
応援します

ネットワークで学校と地域をむすぶ
EDUCOM プラネットシステム シーフォース

ひ ら か れ る

EDUCOM プラネットシステムは、
全国の小中学校の約5校に1校*でご活用いただいております。
あなたの学校の通知表やホームページも…

文部科学省の「平成24年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」によると、従来型を含め何らかの校務支援システムが導入されている小中学校は約22,000校。当社システムのように、1台1台のコンピュータにソフトウェアやデータ等を保存しないクラウド型の活用も7,000校を超えました。EDUCOMは、平成12年より学校現場との共同研究をベースにしたシステム開発と、活用を促進するためのトータルなサポートを通して、校務支援システム・グループウェアの普及に努めてまいりました。これからも「システム」と「サポート」を通して、学校をもっと元気にするお手伝いをしていきたいと考えております。

つながる・ひろがる地域の教育ネットワーク
EDUCOM エデュコム EDUCOM マネージャー シーフォース



情報の共有でコミュニケーションを活性化し、元気な地域教育ネットワークづくりを応援します。

学校ホームページの“毎日更新”をサポート
EDUCOM エデュコム スクールWebアシスト シーフォース



開かれた学校づくりは日々の情報発信から。学校ホームページの「毎日更新」を強力にバックアップします。

当社ホームページで、EDUCOMプラネットシステムの情報をご覧いただけます。

<http://www.educom.co.jp>

お問い合わせは



EDUCOM
株式会社EDUCOM [エデュコム]

フリーコール

エデュコム
00777-81056

*平成25年8月現在、EDUCOM プラネットシステムは、4,200校で導入されています。これは、上記調査（平成25年3月現在）を分母とすると、従来型を含めた導入校の約19%、クラウド型導入校の約60%に相当します。（当社調べ）

●愛知本社 ●東京本社 ●関西支社 ●秋田オフィス
●北関東オフィス ●東東京オフィス ●小田原オフィス
●京都オフィス ●広島オフィス ●福岡オフィス ●三河サテライト